

条幅規定

師範 藤永 琇雲

落筆高く、リズムに乗った抑揚の効いた線、文字の大小、行の響き合いも加味させた構成は、流石師範の作品である。また、「柳・展」のリズムの中の線の波乱が魅力の一つでもある。

条幅随意(臨書)

師範正 堤 璃江

一点一画丁寧に正確に構築され気品の高い安定したまとめ方は、さすが師範正。楷書の用筆を心得た白眉な作品。字間や構成も自然で無理がない。やや滲みのせい、線に重さを感じるのが嬉しい。

条幅随意

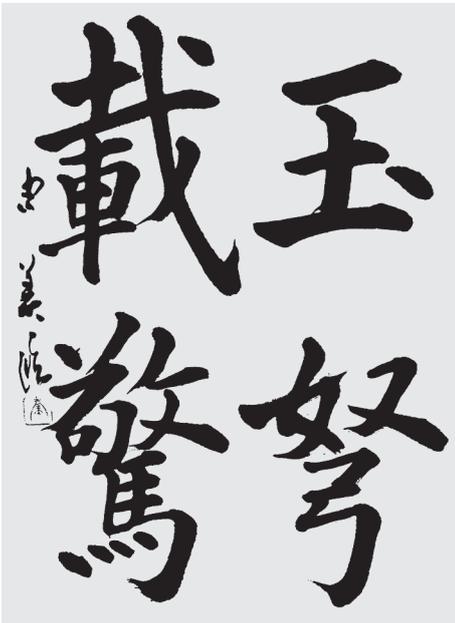
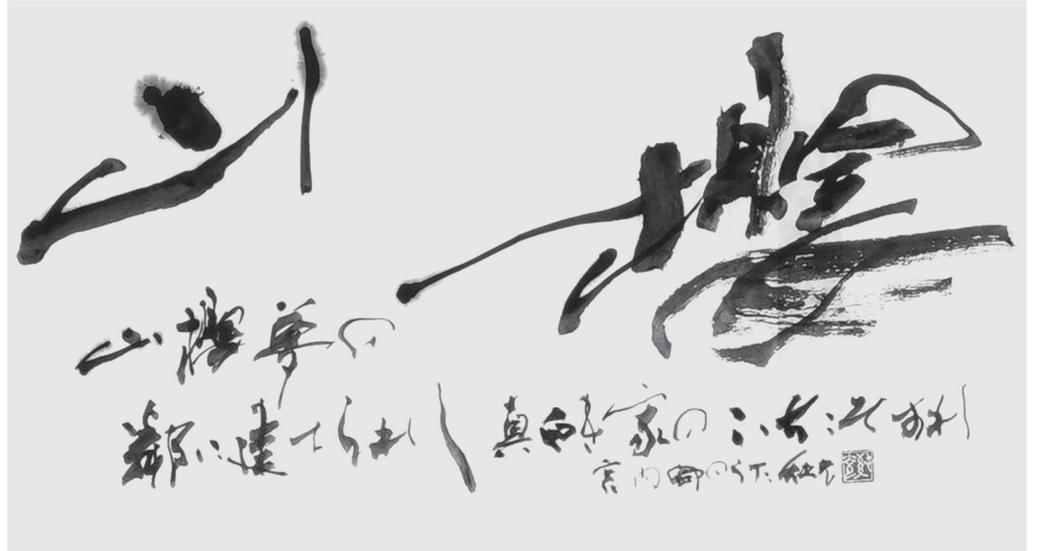
師範正 宮本 虹鶴

抑揚きいた澄んだ筆線で字形に無理はなく、特に下部の息の長い連綿線の辺り、筆の浮き沈みがリズムに乗り、変化に富んだ快調な筆捌きが魅力的である。上部の緊張感が今後の課題であろう。

半折 ½横

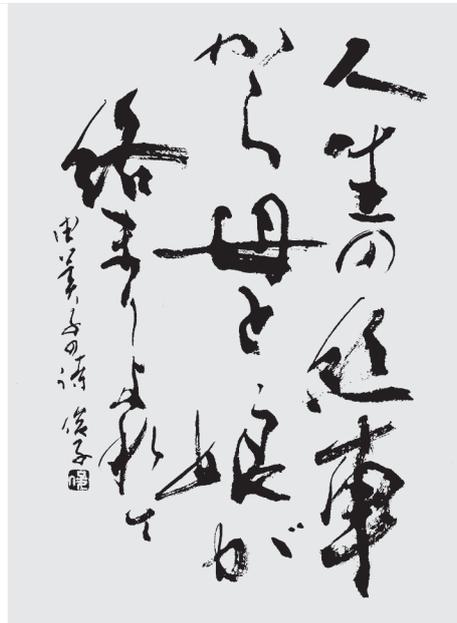
師範正 鹿毛 純光

山桜が風に揺れ舞い、その情趣を感じさせる作品である。詩情を感じながら規定サイズに表現するには、豊かな感性と古典から得た豊富な質量が必要。感動と蓄えた経験値が良い作品を生む。



師範 福沢由美子

無理のない自然な筆捌きが、温かく艶のある深い線と洗練された造形美を生み、懐の白と周りの澱みのない余白も更に美しく、孔子廟堂碑の気品を漂わせた白眉な作品である。



師範 身深 俊子

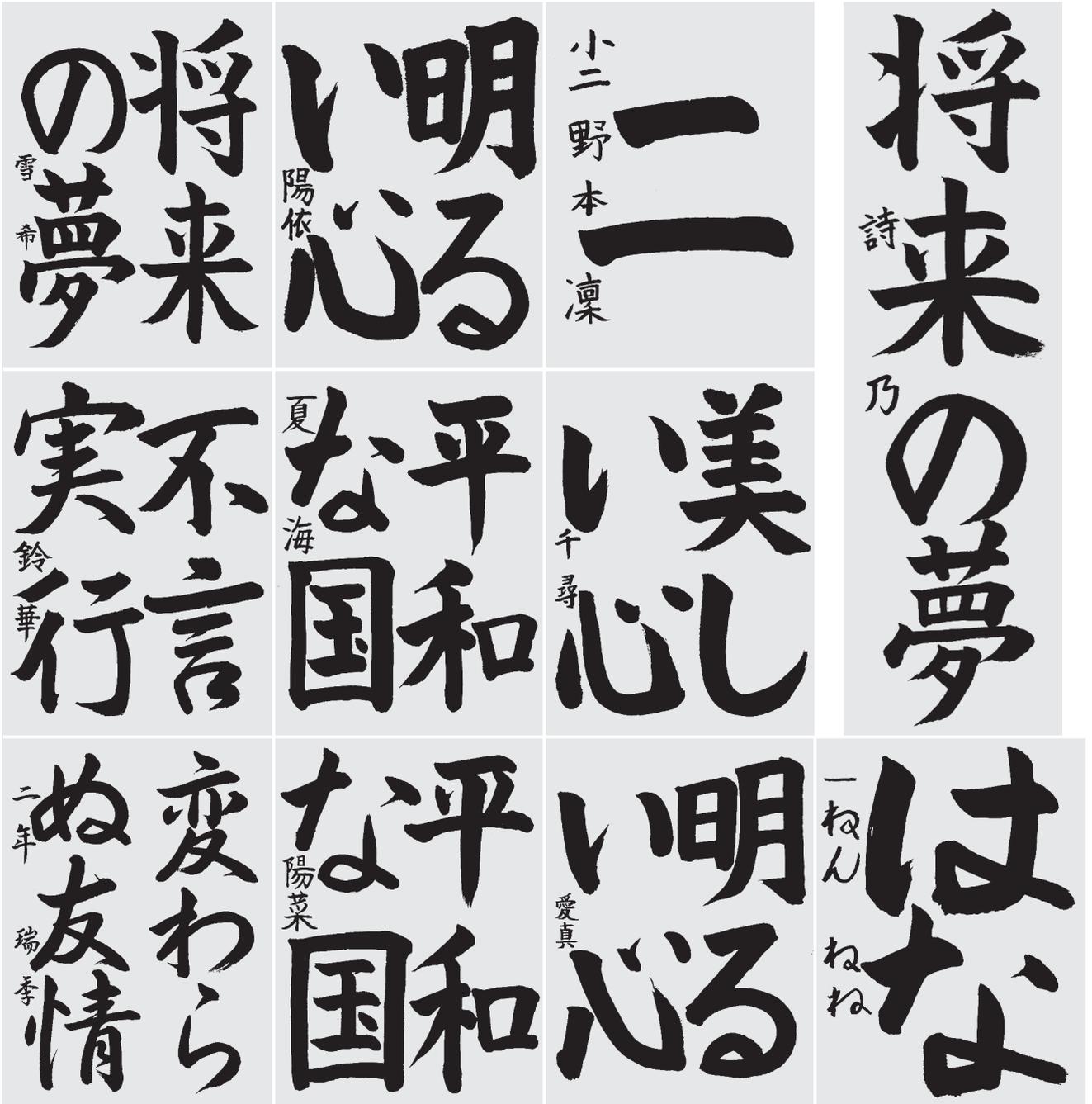
リズムに乗った線と躍動感。多彩な線を縦横無尽に編み、生命感のある作品構成。ただ早書き過ぎて線の粗さが気になる。料理も盛付けひとつで三ツ星に。職人的拘りも必要。



半紙規定

準2級 吉之元萌衣  
今、古典を知りつつ研鑽中であろう。北魏時代の骨力のある強い腺で手本にない存在感と潤いのある若さを感じる作品だ。期待大。雅印も作品の一部。そろそろ用意しよう。

半紙随意



学生部条幅 (1/4)

小六 五段 清川 詩乃

丁寧な筆づかいで形よく書けた  
明るい作品です。さらに上段位  
を目指して、中学生になっても  
がんばってください。期待して  
います。

柳川 寧音  
小一 準5級

ほんしいっぱい  
にねさんのげ  
んきのよいは  
ながあふれて  
います。のびや  
かでもすば  
らしいさくひん  
です。

野本 凜

小二 5級

き本のおでづか  
いがしっかりと  
できた作品です。  
名前も漢字でじ  
ょうずに書いて  
います。このち  
ょうしでがんば  
ってください。

宇都宮千尋

小三 準4級

漢字と平仮名の  
バランスがよく  
とても明るい作  
品です。左右の  
ハライや心の  
ハネもとても  
ていねいに書け  
ています。

吉原 愛真

小四 三段

伸びやかな線で  
半紙いっぱい  
堂々と書けまし  
たね。お習字の  
楽しさが作品か  
ら伝わります。今  
後は名前を少し  
大きく書こう。

高木 陽依

小四 1級

力のこもった強  
い線で元気よく  
書いています。  
上位有段者に負  
けない力を持っ  
ています。この  
調子でがんばっ  
てくださいね。

小田 夏海

小五 五段

迷いのない澄ん  
だ線がみ力的で  
す。作品が明る  
く大きく見えま  
す。さすが上位  
有段者ですね。  
今後はさらに楽  
しみます。

山田 陽菜

小五 準四段

一字一字しっか  
りとした筆運び  
で形良く丁寧  
に書いています。  
名前も元気よく  
しっかりと練習  
の出来たすばら  
しい作品です。

松本 雪希

小六 準三段

お手本をよく観  
て、一字一字形  
良くきれいに書  
けています。名  
前をもう少し大  
きく書くとさら  
に良くなります。  
期待大!

永田 鈴華

中一 特待生

大きな動きで伸  
びやかに明るく  
書いています。  
今後はもう少し  
リズムを流れし  
を意識するとさ  
らに良くなる  
と思います。

本田 瑞季

中二・三 特待生

さすが最優秀の  
常連ですね。完  
成度の高い大人  
顔負けの作品で  
す。今後は一般  
部へも挑戦して  
みて下さい。期  
待しています。

# 硬筆部最優秀作品

(3月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

ライオンの赤ち  
ゃんは、二か月ぐ  
らいは、おちちだ  
けのんでいます。  
おかけいじろう

バスのていりゅう所の辺  
りまで来たとき、こな雪が  
ふり始めましたが石けり  
の輪は終わりません。

雪は、ふとんのように、寒さか  
ら野うさぎの子を守りました。  
毛づくろいも、独りで覚えまし  
た。耳を顔の前にひっぱり、前  
足で、いねいになてつけます。

免除されるということは、誰か他の  
人にあるいは社会のある仕組みに、  
それとの格闘をお任せするという  
ことであって、そのことが、人を受け  
身で無力な存在にしています。

原井 那羽

手紙を読んで思っ  
たことや、あいて  
のいいところを  
カードに書こう。  
なみ木 せいら

バスのていりゅう所の辺  
りまで来たとき、こな雪が  
ふり始めましたが石けり  
の輪は終わりません。

ある夜物音で目が覚めて、はっ  
とした。月明かりの中に大きな  
おじ力が立っていたのだ。川面に  
顔を近づけて水を飲んで、ま  
るで、ぼくなんかいないみたいだ。

以前、素敵な箸置きを購入した。ガラス  
作家の、注文しただけの飾り、が属さ  
り、小振りな色鮮やかな、窓辺のスペース  
が、一気に春めきました。  
おん札たちの表情や、衣、雪洞や、羞恥など、  
ガラス細工とは思えない、細やかです。すくに  
仕舞うのが、勿体ないくらいです。  
端午の節句用に、五月人形も検討中です。  
百合さんのお部屋にも、如何ですか。  
祥子

## 書譜

外はずい星で月も出  
ていた。どうげの下りの  
坂道は、一面の真っ白い  
しもで、雪みたいだった。  
田中 せせき

雪は、ふとんののように、寒さか  
ら野うさぎの子を守りました。  
毛づくろいも、独りで覚えまし  
た。耳を顔の前にひっぱり、前  
足で、いねいになてつけます。

免除されるということは、誰か他の  
人にあるいは社会のある仕組みに、  
それとの格闘をお任せするとい  
うことであって、そのことが、人を受け  
身で無力な存在にしています。

日本は、神々や鎮守の森、墓参りや盆  
供養と、にぎやかな「多神教」の世界で  
ある。日本人は、魂の救済を求める孤獨  
な魂ではなく、七福神の掛け軸や神社  
の御札を喜ぶ万葉びとである。

梶田 ひとみ

岡 慧治朗 小一 7級  
力づく、マス  
いっばいにげん  
きよくかけてい  
ます。むずかし  
いかんじも、お  
手本をよくみて  
とてもしようと  
なりましたね。

並木 沙羅 小二 4級  
のびやかな線  
のびやかに書  
きよくかけてい  
ます。一字一字  
お手本をよく見  
てとても形よく  
かけています。し  
っかりと練習の  
できた作品です。

田中 せせき 小三 準二段  
一字一字のこ  
もった強い線  
元氣よく、とて  
もじょうずに書  
けています。ペン  
の使い方もすば  
らしい。今後も  
期待しています。

金石みのり 小四 準1級  
お手本の細かな  
所までよく見て  
とても一生懸命  
に、しっかりと  
書いています。  
日頃の練習の成  
果が作品に表れ  
ています。

島本 亜紀 小四 2級  
最近、メキメキ  
と力がついてい  
ます。漢字と平  
仮名のバランス  
字形ともにすば  
らしい作品です。  
これからがんば  
ってね。

後藤 侑奈 小五 四段  
ペンを上手に使  
って明るく伸び  
やかに書けた作  
品です。この調  
子でさらに上の  
段位を目指して  
がんばってください。  
期待大!

桑本 彩夏 小五 初段  
漢字とひらがな  
のバランスがよ  
く、明るくすつ  
きりと書いてい  
ます。次は、ペ  
ンゲルインク0.5  
mmにも挑戦し  
てくださいね。

藤崎 涼菜 小六 六段  
書き始めから名  
前まで集中力を  
切らさず、完成  
度の高い作品が  
書けましたね。  
日頃の熱心な練  
習の成果だと思  
います。

告野 くるみ 中学 特待生  
最優秀の常連で、  
さすが、特待生  
の見事な作品で  
す。ペンの使い  
方も大人顔負け  
です。一般部で  
も是非、力を発  
揮して下さい。

原井 那羽 中学 準特待生  
お手本を良く見  
て形よく、一字  
一字とても丁寧  
に書いています。  
頂上まであと一  
歩です。この調  
子で頑張ってください。

樋口 祥子 一般 師範正  
いつもながら完  
成度の高さが見  
事な作品です。  
今後は自己のリ  
ズムを取り入れ  
た思い切りの良  
い筆致を期待し  
ています。

梶田 ひとみ 一般 師範  
漢字とひらがな  
のバランスが良  
く、明るく作品  
を纏められた点  
に腕の確かさを  
感じます。今後  
は扁と旁を少し  
離しましょう。